

県立図書館等との連携強化について

1 連携強化のため平成26年度に実施した取組

(1) 関係所属

- ・ 総務部県政情報文書課 所管：県庁本館文書倉庫にて特定歴史公文書を保管
- ・ 企画振興部文化企画課 所管：松橋収蔵庫、博物館設置の検討
- ・ 教育庁社会教育課 所管：県立図書館、熊本近代文学館
- ・ 県立図書館 所管：昭和20年度以前の県の文書を保管

(2) 平成26年度に実施した取組

公文書館機能の強化を進めるため、ミュージアム、ライブラリー、アーカイブズを所管する関係所属に呼びかけMLA連携を図った。

①企画振興部文化企画課

平成27年秋に「熊本県総合博物館ネットワーク（※）」が始動するにあたり、松橋収蔵庫を「熊本県博物館ネットワークセンター（仮称）」として公の施設として位置づけられる予定。（今後、文化企画課は県議会に条例を提案する予定）

県政情報文書課から特定歴史公文書の目録を「熊本県博物館ネットワークセンター（仮称）」（松橋収蔵庫）のホームページとのリンクを提案した。文化企画課は同センターが本格始動する平成27年度秋季（平成27年10月）からの連携を検討したい意向を示した。

②県立図書館

県政情報文書課から県立図書館へお互いのホームページとのリンクを提案し、趣旨に賛同された。県政情報文書課の特定歴史公文書のホームページにおいて、県立図書館では県重要文化財の加藤・細川時代の検地帳や戦前県庁に保管されていた明治初年から大正7年までの県政資料（公文書、記録類）など古文書約4万点所蔵されていることを紹介することとした。

現在、県立図書館のホームページに県政情報文書課の特定歴史公文書について掲載するよう準備中。

（※）参加する博物館全体でひとつの博物館のように機能することを目指し、県内の博物館に対するサポート機能、また、それぞれの連携体制を構築するネットワーク機能、それらをコーディネートするコアセンター、から構成される、新たな“熊本タイプ”の博物館のこと。

この取り組みに賛同する各種関係機関の協力の下、知的活動に「参加」する県民が増加し、さらに博物館「活動」を活発にすることで、県内の博物館とともに「成長」する博物館を目指している。